

6 フォローアップ調査について

令和元年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した団体を対象に、フォローアップ調査を行いました。

調査目的:「地域発 元気づくり支援金」のさらなる有効活用を図る観点から、支援金事業実施後も継続して地域に効果を及ぼしている事例等の状況を把握し、発信する。

1. アンケート調査

調査時期: 令和4年 8～10月

調査対象: 令和元年度に実施された事業のうち、第三者評価が高かった事業を中心に選定

回収状況: 回答団体数 121

調査方法: 郵送又はメール、記名方式

調査内容: (1) 支援金活用事業の効果について
(2) 団体の現在の活動状況について

2. 追加調査(ヒアリング調査)

調査時期: 令和4年 10～11月

調査対象: アンケート調査の回答のあった団体の中から、支援金の効果的な活用により継続的に事業展開している団体を各地域1つ選定

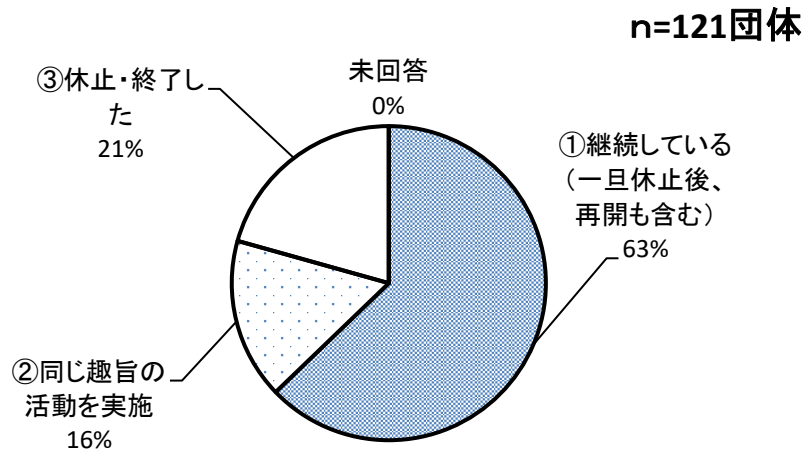
調査方法: 聞き取り調査

調査内容: (1) 最近の活動状況
(2) 取組の効果や課題
(3) 今後の事業展望等

1. アンケート調査結果

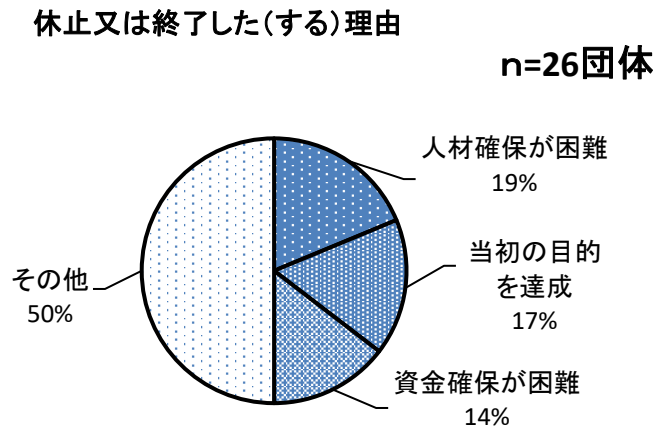
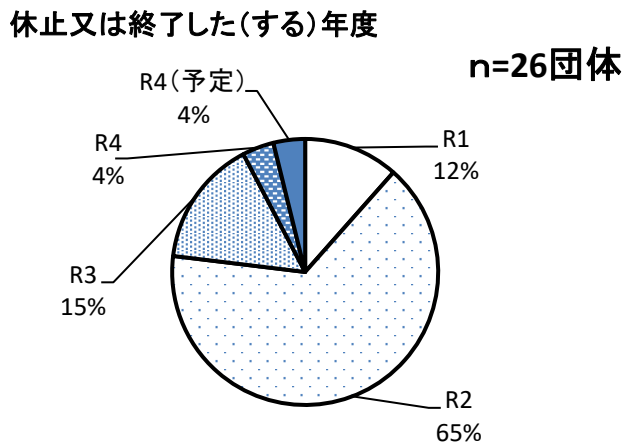
令和元年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した団体を対象に、事業実施から一定期間経過後の地域への効果や団体の活動状況に関するアンケート調査を行いました。

○元気づくり支援金活用後の団体活動について



■ 元気づくり支援金の活用後も79%の団体が活動を継続している。

問 元気づくり支援金を活用後、休止又は終了した(する)年度をお願いします。
また、その理由をお願いします。



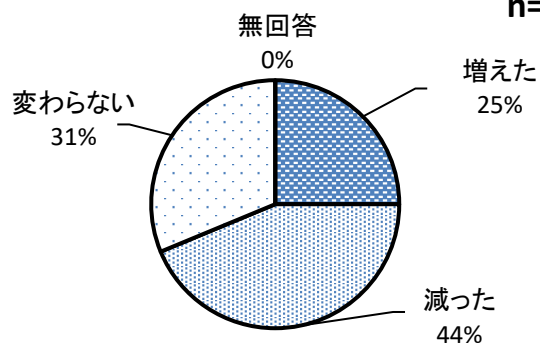
- その他
- コロナ禍で活動が継続できない
 - 住民の理解不足
 - 他

■ コロナ禍の影響等により、やむを得ず休止・廃止する団体が多い一方で、当初の目的を達成した等の前向きな理由も一定程度見られる。

問 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と現在を比べて、活動に変化はありましたか。

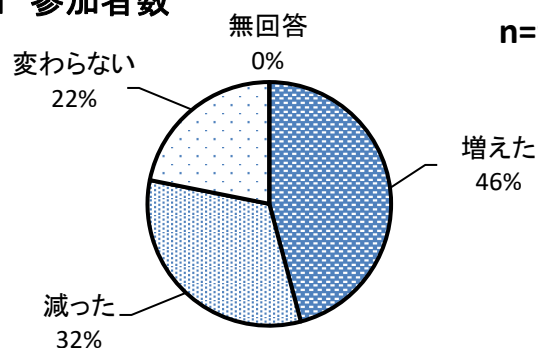
■ 参加経費について

n=96団体



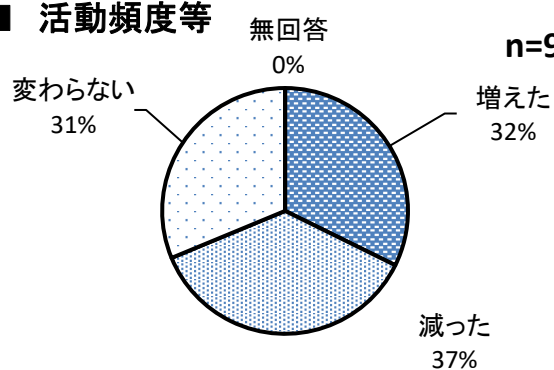
■ 参加者数

n=96団体



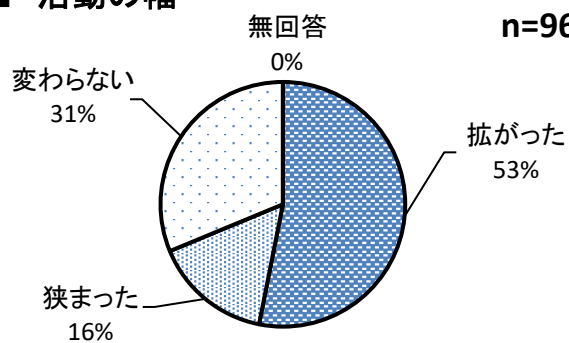
■ 活動頻度等

n=96団体



■ 活動の幅

n=96団体

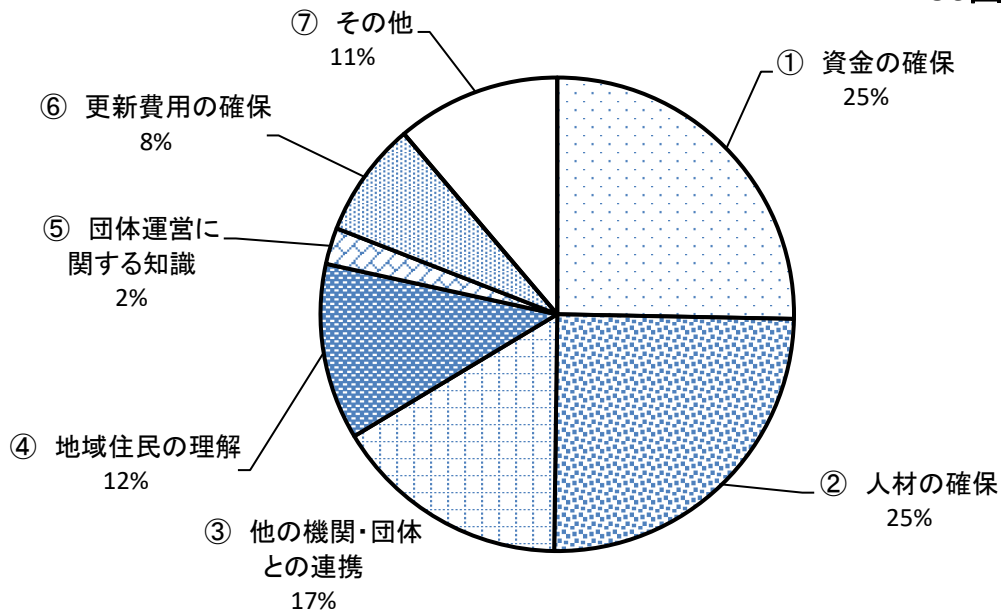


■ コロナ禍の影響も見られるが、総合的に見ると、元気づくり支援金を活用後、活動が活発化している団体が多い。

○活動を行っていく上での課題

問 活動していく上で、課題となっていることは何ですか。(複数回答可)

n=96団体



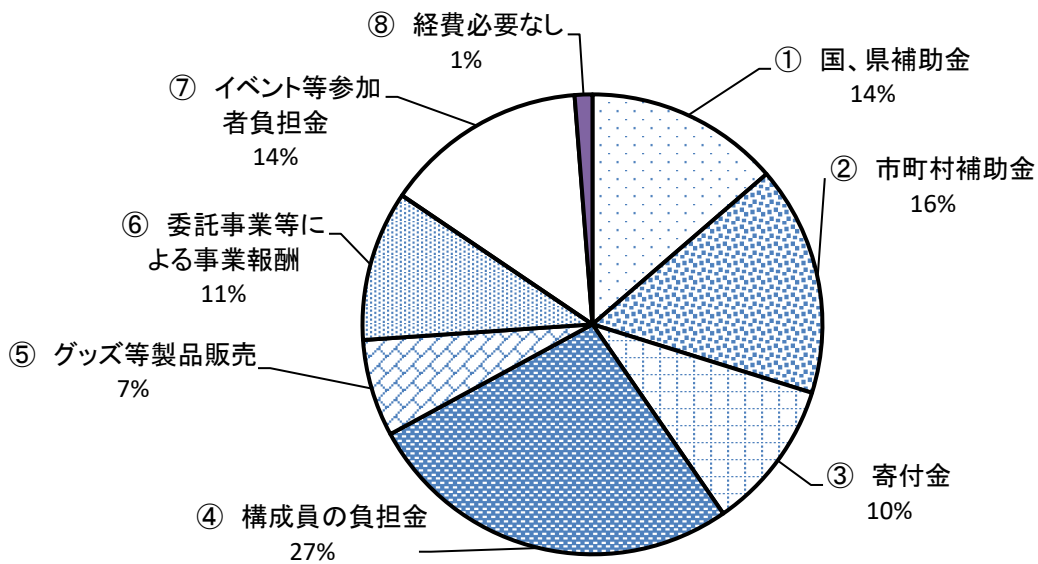
その他

- 構成員の高齢化
- コロナ禍による活動制限
- 活動に対するモチベーションの維持
- 活動を波及させる方法

■ 活動を続けるには資金と人材が特に必要

問 活動資金の調達先を教えてください。(複数回答可)

n=96団体



■ 構成員の負担金が多いことが課題。
市町村補助金や寄付金、構成員の負担金等が全体の53%

「地域発 元気づくり支援金」令和元年度実施事業に係るフォローアップ調査

回答団体数【地区別】

佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曾	松本	北アルプス	長野	北信	合計
11	9	9	11	20	9	18	8	18	8	121

【問 1】 設立時と比べた、構成員の人数の現状をお願いします。

設立時と比べ、構成員が増加	50
設立時と比べ、構成員が減少	26
設立時と比べ、構成員が同数	33
未回答・不明	12

【問 2】 現在、構成員を募集している場合はその方法や課題・工夫等があればお願いします。

- HPや募集チラシ、パンフレット
- ウェブサイト、SNS等での募集
- 構成員のネットワークによるクチコミ勧誘
- ハローワーク、民間求人サイト
- 活動を行う中での勧誘
- 地元紙に記事や広告を記載
- 自治体や教育機関と連携して募集している
- 求めている人物像が見つからず、事業継承が課題となっている
- 他

【問 3】 元気づくり支援金を活用して取り組んだ活動（以下「活動」という。）を継続していますか。

- ① 継続している。（一旦休止した後、再開した場合を含む。）
- ② 同じ趣旨の活動を実施している。
- ③ 休止・終了した。

①	76
②	20
③	25
未回答・不明	0

①、②を選んだ方は【問 4】へ、③を選んだ方は【問 9-1】へお進みください。

【問 4】 活動は地域に対してどのような効果があると感じていますか。

- 地域経済の活性化
- 交流人口の増加、人と人とのつながり創出
- 地域住民の防災意識向上
- 地域学習の増進
- 地域に対する愛着の増進
- 地域のPR・魅力向上や観光誘客
- 健康づくり活動の促進
- 異文化理解、外国人の孤立防止
- 景観保全・環境美化
- 他

【問5】 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と、現在とを比べて活動に変化はありましたか。次の番号からお選びください。

○ 活動経費 ①増えた ②減った ③ 変わらない

	活動経費	参加者数
①	24	44
②	42	31
③	30	21
無回答	0	0

○ 参加者数 ①増えた ②減った ③ 変わらない
(※ 構成員を除く事業への参加者数)

○ 活動頻度等 ①増えた ②減った ③ 変わらない
(※ イベント開催数、支援金で整備した施設等の稼働率など)

	活動頻度等	活動の幅
①	31	51
②	35	15
③	30	30
無回答	0	0

○ 活動の幅 ①広がった ②狭まった ③ 変わらない
(※ 元気づくり支援金活用事業とは別に、新たな活動に取り組んだ → ①広がったに計上)

理由

- コロナ禍により活動を控えたため (活動経費：②減った、活動頻度：②減った)
- 活動が広く知られるようになったため (参加者数：①増えた)
- 行政や企業を巻き込んだ事業に発展したため (活動の幅：①広がった)
- 他

【問6】 活動資金の調達先を次の番号からお選びください。(複数回答可)

- ① 国、県補助金 (補助金名：_____)
- ② 市町村補助金 (補助金名：_____)
- ③ 寄付金
- ④ 構成員の負担金
- ⑤ グッズ等製品販売
- ⑥ 委託事業等による事業報酬
- ⑦ イベント等参加者負担金
- ⑧ 経費必要なし

①	22
②	26
③	17
④	43
⑤	11
⑥	17
⑦	23
⑧	2

① 国、県補助金

- 文化庁AFF2 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)
- ふるさと信州棚田支援事業補助金
- 長野県みらい基金
- 他

② 市町村補助金

- まちづくり支援事業補助金
- こども居場所作り支援事業
- 観光振興団体事業補助金
- 他

【問7】 活動資金を得るための取組や課題・工夫等あればお願いします。

- 補助金情報などの有益情報を得るためにアンテナを高くしている
- 行政を巻き込んで事業を行う
- モノやサービスの売上アップを図る
- 地元企業からの協賛、イベント時の出店料
- 賛同者を増やすために積極的に活動のPRを行う
- 民間団体からの補助金の調達
- 他

【問8-1】 今後、活動を継続していく上で、課題となっていることは何ですか。次の番号からお選びください。なお、活動を休止・終了する予定の方は【問9-1】、【問9-2】へお進みください。
(複数回答可)

- ① 資金の確保
- ② 人材の確保
- ③ 他の機関・団体との連携
- ④ 地域住民の理解
- ⑤ 団体運営に関する知識
- ⑥ 今後見込まれる施設・備品等の更新費用の確保
- ⑦ その他（具体的に下欄にお書きください。）

その他

<input type="checkbox"/> 構成員の高齢化
<input type="checkbox"/> コロナ禍による活動制限
<input type="checkbox"/> 活動に対するモチベーションモチベーションの維持
<input type="checkbox"/> 活動を波及させる方法
<input type="checkbox"/> SNSの活用方法
他

①	61
②	60
③	39
④	29
⑤	6
⑥	19
⑦	27

【問8-2】 【8-1】の課題を解決するために必要な支援、事項は何ですか。次の番号からお選びください。
(複数回答可)

- ① 国・県・市町村の補助金
- ② 補助金以外の財源確保に関する知識
- ③ 地域活動などの専門知識を有する外部人材の派遣
- ④ 地域づくり団体との情報共有・ネットワークづくり
- ⑤ その他（具体的に下欄にお書きください。）

①	45
②	29
③	18
④	44
⑤	28

その他

<input type="checkbox"/> 補助金に頼らない自立した活動体制の構築
<input type="checkbox"/> 他団体との情報共有、ネットワークづくり
<input type="checkbox"/> 行政各所との連携
<input type="checkbox"/> 行政や地域住民の熱意
<input type="checkbox"/> 構成員に対する研修・勉強会
<input type="checkbox"/> 活動内容の周知
他

→ 【問10】へお願いします。

【問3】で「③」を選択、又は【問8-1】で「休止・終了する予定の方」

【問9-1】 元気づくり支援金活用事業を実施した後、休止又は終了した年度を記入してください。

休止・終了年	
H31(R1)	3
R2	17
R3	4
R4	1
R4(予定)	1

【問9-2】 活動を休止又は終了した理由を次の番号からお選びください。（複数回答可）

- ① 当初の目的を達成
- ② 資金確保が困難
- ③ 人材確保が困難
- ④ 他の機関・団体との連携不足
- ⑤ 地域住民の理解不足
- ⑥ 団体運営に関する知識不足
- ⑦ モチベーションの低下
- ⑧ その他（具体的に下欄にお書きください。）

①	8
②	7
③	9
④	2
⑤	4
⑥	3
⑦	3
⑧	12

その他

<input type="checkbox"/> コロナ禍で活動が継続できない
<input type="checkbox"/> 新たな団体が組織され、事業が継承されたため
<input type="checkbox"/> 活動場所が確保できなくなったため
他

【問10】 元気づくり支援金を活用した経験から、元気づくり支援金の補助内容などに関してのご提案や、これから応募する団体へのアドバイスがあればお書きください。

- 補助対象経費の幅を広げてほしい（人件費、OA機器購入費、旅費等）。
 - 申請条件・書類等がとても煩雑であるため、簡素化してほしい。
 - 申請に当たり、自己資金の割合の大きさが支援金による活動を発想する妨げになることが考えられるので、可能なら割合の軽減を考えてほしい。
 - 申請の仕方の説明会の他に、活動を具体化していくための事前レクチャーのための勉強会があると良い。
 - 最長3年の期限が到来した後も支援をしてほしい。
 - 個々の団体の提案や課題を、自治体（市町村）の施策や課題に昇格させる仕組みがあってはどうか
 - この支援事業は、県内の多くの人に非常に役に立っていると思う。更なる総額の増額を願う。
 - 元気づくり支援金を活用することによって、多くの成果を生み出すことができる。
 - 取り組む事業形態にもよるが、あくまで最長3年のスタートアップ資金なので、そのことを十分に理解したうえで、計画・活用することが望ましい。
 - 元気づくり支援金をもらうことを目的に事業を構築するのではなく、本来の事業の目的に沿った中でこの支援金を活用することが大事
 - 支援を受けた事業の継続が大切であるため、長期計画をイメージして応募することが大事。
 - 規模の大小に関わらず継続していくことが大切だと思う。やったことは無駄にならない。
 - 誰のために、何のためにをはっきりさせておくことが、継続してやっていくための1番大切なことだと思う。
 - 必要経費の見積もりについては、金融機関振込手数料等の経費も計上しておくが良い。
 - 一次募集で採択されなくても二次募集に応募するなど、あきらめずに頑張してほしい。
- 他